新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里機関紙

シジュウカラ 第95号

令和２年６月１日発行

もくじ

２ページ　・特集１　ヒナを拾わないで
・新所長あいさつ
3ページ　・イベント案内（７月～10月）
・イベント報告（12月～3月）
・フェイスブック開設
4ページ　・傷病鳥獣の収容状況
・愛鳥センター利用案内

鳥が迷い込んだ場合の対応
出入口を明るく、その他の場所を暗くすると、鳥は明るい方に向かうことがあるので参考にしてください！

表紙の写真についての説明
愛鳥センターに迷い込んできたツバメが、鳥凧に止まった瞬間を撮りました。

令和2年5月1日で愛鳥センター紫雲寺さえずりの里は開館30年を迎えることができました。これを機に紙面をリニューアルしました。
今後ともよろしくお願いします。

愛鳥センターHP

ヒナを拾わないで

これはオオミズナギドリの翼です。左が下面、右が上面。
海上で風を受けて滑翔する長ーい翼です。

新緑がきれいな時期、探鳥路では様々な小鳥たちを見ることができる時期です。毎年お願いしております「ヒナを拾わないで！」の季節でもあります。まだまだご存知の方が少ないので、今年もお話させていただきます。知っている方は、どんどんほかの方にも広めてください。よろしくお願いします。

ヒナは親鳥にエサを運んでもらい成長していきます。多くは、ふわふわした羽毛から親鳥とほぼ同じ姿に羽が生え変わるころ（一部は生え変わり前に）巣立ちを迎えます。巣立ちとは巣から出て生活するようになることで、独り立ちではありません。巣立ち後も2週間から1か月親鳥のサポートを受けながら独り立ちに向け学習していきます。

・「上手く飛べない」は、巣から落ちたのではないことが多いのです。
一目で種類が分かるようなヒナは、近くで親が見守っているはずです。
・「近くに親鳥がいない」というお話も聞きますが、親鳥は人間に見つからないように距離を開けて様子をうかがっているはずです。車や猫、カラスなどの危険が迫る場合は、その場を退避させ近くの茂みなどに置き、その場を離れてください。その後は親鳥が誘導するはずです。
・「人が触れたから、親鳥が世話をしない」は、ありません。
・まだ巣立つ前のふわふわのヒナや羽もないヒナの場合は、何かしらの理由で巣から落ちた・落とされたと思われますが、やはり親鳥が見守っていることが多いのです。
・雨や日差し・危険を避けられる場所（少し高い木やベランダに設置した箱やかごの中など）に入れて、あとは自然の摂理に委ねましょう。人が育てるより・親が育てる方が生育率は高いのです。
・フクロウ類は、ふわふわの状態で巣立ち、地面に立っていたりしますが、強い足を使い自力で木に登ります。そして視力の良い親鳥（もちろん昼間でも視力はあります。）が、遠くから見守っています。

ヒナは拾わないで・・・のフレーズは、徐々に認知されてきてはいますが
これからは「では、どのようにしてあげればよいか」という知識も皆さんと広めていきたいと思います。

収容されたヒナ

スズメ

フクロウ

新所長あいさつ

この4月、愛鳥センターに赴任しました。浅間康代と申します。
幼少の時、実家のお隣が鳥獣商（いわゆる小鳥屋）だったこともあり、
幼稚園の頃からジュウシマツやウズラ、ヒヨコを飼っていました。
ヒヨコは夜店で買ってもらったものでしたが、ときの声をあげはじめたら、いつの間にかいなくなっていました（今思うと…。これ以上は想像したくありません）。
幼稚園児の手にはジュウシマツもかなりな存在感でしたが、小柄な鳥ですよね。
小鳥が死んでしまったと、泣きながら登校したことも遠い昔の思い出です。
大人になって、しばらくは小鳥を飼っていませんでしたが、今は手乗り文鳥１羽と暮らしています。私が飼った5羽目の文鳥なので、チュンゴと名付けました。
10歳のおじいちゃんです。
年取ってさえずりもダンスもしなくなりましたが、25ｇにも満たない小さな体で、ものすごい存在感があります。出勤前に「行ってきます」とチュンゴに声がけして、愛鳥センターに出勤する、今日この頃です。
シジュウカラをご覧になっている皆様（バードウオッチャーである皆様）とは、「愛鳥」に関する入り口が違うかもしれませんが、鳥に対する愛はあふれるほど持っていると自負しています。野鳥の知識はまだまだ不足していますが、頑張ります！　どうぞよろしくお願いします。

愛鳥チュンゴちゃん

7月～10月イベント案内

探鳥会・観察会

・シギ・チドリ観察会
日時:8月30日(日)　9:00～10:30　定員20名
集合：海のにぎわい館駐車場（聖籠町）

・マツムシの声を楽しむ会
日時:9月5日(土)　18:00～20:00
集合:愛鳥センター紫雲寺さえずりの里
定員15名

・愛鳥センター探鳥会
日時:9月27日(日)　9:30～11:00　定員10名
集合：愛鳥センター紫雲寺さえずりの里

・清潟探鳥会
日時:10月24日(土)　9:00～10:30　定員15名
集合:清潟公園駐車場(新発田市)

※探鳥会、観察会、夏休みイベントは事前申込制！
住所・氏名・電話番号・年齢を明記して
電話、はがき、FAX、E-mailでお申し込みください

夏休みイベント

・工作教室「消しゴムはんこで鳥を作ろう！」
日時:7月24日(金･祝)　13:00～14:30　定員20名
内容:鳥のことを学びながらはんこを作ります。

・富士鷹なすびお絵かき教室
日時:8月10日(月･祝)　13:00～15:00　定員20名
内容:野鳥漫画家の富士鷹なすびさんと一緒に鳥の絵を描きましょう。

・巣箱作り教室
日時:8月15日(土)､16日(日) 13:30～16:00
定員各5組
内容:スズメやシジュウカラ用の巣箱を作ります。

企画展

・春季特別展 愛鳥ポスター、開館30周年写真展示（～7/12）
・夏季特別展 富士鷹なすび原画パネル展（7/25～8/30）
富士鷹なすびさんプロフィール
新発田市出身の野鳥漫画家で雑誌等でイラストを多数掲載

イベント報告

富士鷹なすび著
「原色非実用野鳥おもしろ図鑑」より

講演会

・2月16日　新潟県野鳥保護の集い　参加者83名

阿賀野市福祉会館・瓢湖を会場に開催しました。午前は瓢湖で愛鳥モデル校の水原小学校が参加した探鳥会では、昨年に引き続きコスズガモを目の前で観察できました。その他の水鳥ではヨシガモやアメリコガモ、マガモとオナガガモの交雑種など確認でき、猛禽はオオタカやチュウヒを確認しました。

午後の講演会は、新潟県野鳥愛護会の渡辺会長から「ハクチョウの故郷を訪ねて―極北の白夜で繁殖する鳥たち―」についてを講演いただき、コハクチョウの繁殖地を訪ねてロシアの北極海沿岸を訪れた際のお話しをしていただきました。その他、野鳥写真展表彰式、第51回ガンカモ類の生息調査の発表等がありました。

探鳥会・観察会

・12月8日　五十公野公園探鳥会　参加者32名　観察種　37種
・1月26日　足跡ウォッチング　参加者15名
・3月1日　ハクチョウを見送る会　新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止

詳しくは、愛鳥センターHPをご覧ください。

フェイスブック開設

新潟県愛鳥センター
紫雲寺さえずりの里
公式Facebook

愛鳥センター周辺の様子や収容した傷病鳥の情報など発信していきます。
HPにあるバナーまたはQRコードから御覧ください！

愛鳥センターfacebook

傷病鳥獣の収容状況

令和元年度　12月～3月の傷病鳥獣収容結果

ユリカモメ

収容NO.	種類	11月末収容数	収容数	放鳥獣	譲渡返還	死亡	3月末収容数	収容NO.	種類	11月末収容数	収容数	放鳥獣	譲渡返還	死亡	3月末収容数
（鳥類）								14	コチョウゲンボウ		1			1	0
1	コハクチョウ	5	9	3		2	9		ハヤブサ	1					1
2	オオハクチョウ		2	1			1		チゴモズ	1					1
3	マガモ		1	1			0	15	モズ		1			1	0
4	カンムリカイツブリ		3	3			0		ハシボソガラス	2					2
5	キジバト	3	2	3			2	16	シジュウカラ		1	1			0
	アオバト	3					3		ツバメ	2				1	1
	オオミズナギドリ	1				1	0	17	キレンジャク		4	2		2	0
6	コサギ		1			1	0	18	ムクドリ		1			1	0
7	ユリカモメ		1				1		マミジロ	1					1
8	ウミネコ	1	1	1			1		マミチャジナイ	1		1			0
	オオセグロカモメ	1					1	19	カワラヒワ		1			1	0
9	トビ	6	1				7	20	ドバト	2	2	2	1	1	0
	ノスリ	5					5	21	不明		2			2	0
	クマタカ	1					1	小計		38	39	20	1	18	38
10	フクロウ	1	1			2	0	（獣類）							
11	トラフズク		1			1	0	1	アブラコウモリ		4	3		1	0
12	アオゲラ		1			1	0	2	ニホンノウサギ		1			1	0
13	チョウゲンボウ	1	2	2			1	小計		0	5	3	0	2	0
								合計		38	44	23	1	20	38

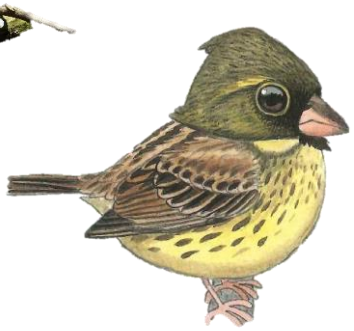
令和元年12月1日～令和2年3月31日までの収容数は、鳥類21種39羽、獣類2種5頭で、昨年度の同時期（鳥類46羽、獣類0頭）と比べ鳥類は減少し、獣類は増加した。

キレンジャク

利用者数

愛鳥センター利用者数

月	12月	1月	2月	3月	計	累計
来館者数	372	291	342	133	1,138	630,296


富士鷹なすび著
「原色非実用野鳥おもしろ図鑑」より
アオジ

トキ保護募金

館内設置のトキ募金箱の報告
令和元年12月～令和２年３月　１，４５０円
累計　２９６，８１０円
皆様の温かい善意に深く感謝いたします。
今後とも御協力をお願いします。

新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里

- 開館時間　午前９時～午後４時
- 月曜日（祝日の場合は翌平日）
  年末年始（12/29～1/3）
- 入館料　無料
- 問合せ

〒957-0231 新発田市藤塚浜海老池
☎ 0254-41-4500　FAX 0254-41-4501
HP https://www.pref.niigata.lg.jp/site/aicho/